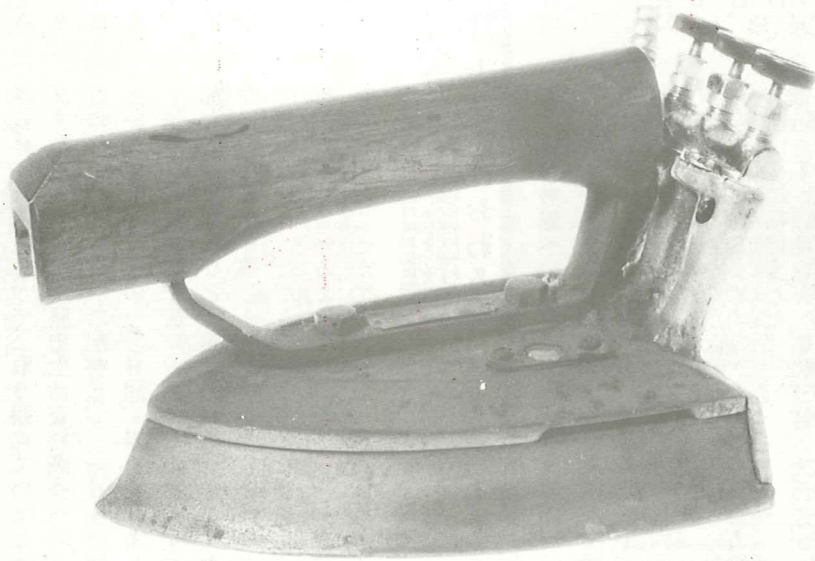


かたりべ 2

豊島区立郷土資料館だより



アイロン

今回の旧高田・雑司が谷地区を対象とする歴史生活資料調査のなかで、多くの資料を郷土資料館に寄贈していただきました。その多くは消費生活で使った生活用具でした。そのほか、農具や仕事で使った道具もいただきました。井戸掘りの道具、桶屋さんの道具もあります。

南池袋三―四―二〇でクリーニング業を営む久代栄八さんからは戦後まもなく、今の仕事を始めたころに使っていた機具一式をいただきました。

アイロンのほか、今回、バーナー、燃料タンク、湯わかし、アイロン台などいっしょに寄贈されました。アイロン台には馬と呼ばれて、ワンピースやズボンの仕上げの時に使ったものと、ワイシャツの胴体の仕上げ用のとがあります。

上の写真で紹介したものは、ガスアイロンです。ガスをアイロンの内部にとおして、点火しうしろにあるボタンで火力を調節して使うものです。ガスアイロンは戦前からありましたが、これは戦後直後のものです。現在ガスアイロンはほとんど使われなくなり、今はボイラーで蒸気をわかし、それをおすアイロンが使われています。

郷土資料館は個人の住宅を対象に、歴史生活資料の所在調査を実施しました。現在の生活の仕方は一九五五（昭和三〇）年ごろから始まる高度経済成長によって形づくられています。それ以前の生活で使った物や関連する文献・写真が残っている状況を知るために、今回の調査を行いました。むかしの生活用品などは、急速に失われつつあるので、これらを収集し、保存することは、資料館にとって重要な課題です。今回の調査結果は今後の館活動の基礎的データとなるものです。

所在調査は区内を、旧巢鴨・駒込地区、旧西巢鴨地区、旧池袋地区、旧高田・雑司が谷地区、旧長崎地区の五つに分け、五か年計画で進めます。第一年度の今年は、旧高田・雑司が谷地区をとりあげました。

調査員は『広報としま』で募集しましたが、多数の応募があり、抽選の結果、三人の方にお願いしました。今年の実施地区を、①高田一丁目、二丁目（二一―一八番）、②高田三丁目、二丁目（一一―二番）、③目白二丁目、④目白一丁目、⑤目白四丁目、⑥雑司が谷一丁目、⑦雑司が谷二丁目、⑧南池袋一丁目、⑨南池袋三丁目、⑩西池袋二丁目に分け、調査員で一〇の班を編成し、分担しました。少ない人数と日数で、多くのお宅を訪ねて、

歴史生活資料調査

大成におわる

資料の有無と資料がある場合は、名称・用途・使用者・由来などを聞くという困難な仕事に、調査員は熱意をもって、取り組んでいました。まず九月一日に「歴史生活資料調査へのご協力をお願い」を全戸に配布し、一日―四日と一七日―二二日の一〇日間、調査をしました。結果は、調査の予告、お願いが前日のチラシ配布のみになるなど、事前の準備が十分でないなどの反省点を残しました。しかし多数のお宅にご協力していただき、さまざまな歴史生活資料が残されていることがわかったという大きな成果を取ることができました。家ごとのカード

が約六四〇枚、物ごとのカードが約一〇〇〇枚が作成されました。また所在調査と同時に、資料の館への提供もお願いしました。二人の方から九六八枚の資料を寄贈していただき、二〇人の方から六八枚の資料を寄託していただき、二〇人の方から六八枚の資料をお借りすることができました。（いずれも一〇月九日までの分）ご寄贈された方のお名前は後に掲げました。

多くの貴重な資料を収集できたこととともに館活動に協力していただけた人たちとのつながりができたことも、調査の貴重な成果でした。

「感想」

歴史生活資料調査に参加して

小池陸子

広報の募集を見て専業主婦が社会参加をしてみようかと野次馬根性で応募した。説明会で少し不安を持ち、初日のピラ配りで不安がもう一廻り大きくなり調査が始まった。

「ごめん下さい。調査員です。」の声に玄関が開かれ「それなら父の方が良いと思います。」とお嫁さんの声に出て来て下さったGさん、池袋近辺の話の思い出しながらして下さる。「焼けてしまつて何も無くなつてしまつたがあそこなら何かあるかも知れませんヨ。」との紹介を受けた次にお話しを伺っている間に「こんな物でも良いのでしょうか。」と今迄大事に仕舞って置いた物を出して下さった方。人と人との触れ合いが楽しい日々でした。

齊藤和彦

十日間の歴史生活資料調査を終えた。目前に山積された提供資料を見て、盛無量である。この他に無形の資料多数と、調査員の心中深く残った、快い感情が有る。受け持ち地域の人達との交流は、第一日目の、ピラ撒きから始まった。土地勘なく、同じ道を往復して撒いてしまつたり、ピラの効果の期待も半信半疑であつた。し

かし、同郷の好誼か、自ら進んで資料提供の意
志や、貴重な古美術品の鑑賞まで許して下さっ
た方々の好意には勿論の事。調査中、顔なじみ
になった人と道で出会うと、同じ町内の住んで
ある如く、気軽に挨拶を交して呉れた、人間同
志の暖かい心の触れ合いが、調査員の脳裏に深
く焼き付いた、何物よりも貴い収穫であったと
想って居る。

ビルの谷間の水神さん

立柳 聡

調査も半ばとなったある日、私はTさん宅を
訪問して思いがけない出会いを経験した。

実はTさん宅には世帯主たるTさん自身がそ
の水で産湯をつかったという古い井戸があり、
しかもここに水神さんが祭られていたのである。
コンクリートビル一階の切り貫かれた壁の一面
に、井戸は昔ながらの位置に人知れず保存され、
その前に毎日家族が欠かさず取り替えるという
お供え物が置かれていた。

思えば私が今回の調査に参加した動機の一つ
は、現代文化の象徴とも言うべき都市の中で、
伝統文化がどのように息衝いているかを知るこ
とにあったが、近代化の波の中で孤軍奮闘して
いるかのようなこの水神さんに、何か言い知れ

ぬほのほのとした感動を得た。

一九八五年度調査参加者名簿(50音順)

新垣貞子／飯島恵子／市川嘉寛／大沢恵子／大
村雅弘／岡島寛明／岡村 透／小川協子／嘉津
山節子／木村公美／久保田陸／小池陸子／小泉
節子／小林雅也／斉藤和彦／須田景子／関口富
貴子／関根公子／高田恵義／立柳 聡／田中喜
十郎／仲佐桂子／西島保男／二ノ宮達夫／野村
秀夫／福田弘子／藤木鞠子／布施川敦尚／松本
婦佐子／結城 真／湯沢亜子 (以上31名)

ありがとうございました!!

今回の調査および広報でのお願に応じて下さ
り、次の方々から貴重な資料を寄贈していただ
きました。今後、資料館の展示や研究の中で充
分活用していきたいと思えます。また、資料を
わたしたちに寄託・貸出して下さった方も多
数おられます。ありがとうございました。

豊島区立郷土資料館

高田一丁目 浅川誠治・荒木金一・小川清子
小菅ハツエ・小林平助・荷福金次・前野 覚
森田栄一・渡辺富美子

高田二丁目 加藤千栄子・川崎純之助・鈴木

ふさ子

高田三丁目 斉藤顕雄・高石美代子・西方正

道

雑司が谷一丁目 岡田貞子・片野歌子・小池

陸子

雑司が谷二丁目 石田千代子・恩田正三郎・

田沢和夫・吉倉 清

雑司が谷三丁目 石川晴夫・板垣ミヨ・織戸

秀・川井武雄・川上俊雄・田中 明・野村

均・丸井正江・宮本愛次郎・山村はな

目白一丁目 福岡 顕

目白二丁目 青樹幸子・有川俊一・大久保静

夫・岡島初子・小倉幸子・木内美和・小瀬

孟・小原とし江・佐藤富治・新倉秀吉・高橋

達人・高宮ハル子・徳力幹一郎・中島経子・

野上武男・二見五郎・水沢忠雄

目白三丁目 大貫美代・大野くに・河野義克

小沼タマ・原野一男

目白四丁目 上原富美子・大河原繁男・大山

和雄・川村 勉・栗原与三郎・宮下孝男

南池袋一丁目 中井 徹・平山行雄

南池袋二丁目 岩崎百之助・金子一子・亀山

幸太郎・島田萬純・中山鑄之助・宮城ひで・

柳下弘美・和田垣知恵

南池袋三丁目 秋葉ミツ・石井宇之助・今井

登代子・太田哲男・萩島やゑ・黒田守夫・小口むめ・坂上道治・中川新也・長谷川重博・久代栄八・松野三重子・宮城四郎

南池袋四丁目 庵原嘉雄・桐原ゆり・田辺晴・傅田福松・福田七家・藤村和夫

西池袋一丁目 伊藤寿子・藤沢絹江

西池袋二丁目 青山和子・今井テツヨ・大塚信郎・岡村竹松・岡村富士子・加藤正治・鏑木久一・木村為一・黒田 傳・小林いゑ・後藤孫一・斉藤任巨・鈴木たき子・手塚キクエ

中島和子・古川智枝子・山本 堤・吉村幸子

西池袋五丁目 尾形博子

池袋二丁目 小林シヅコ・松本鉄太郎

上池袋三丁目 小島吉一・仁平恒四郎

南長崎二丁目 清水絢子・藤島すえ・湯目政雄

南長崎六丁目 岩崎寛一

要町三丁目 田島徳司

高松二丁目 杉浦希子・藤原俊夫

千川町一丁目 西羅ヒデ子

南大塚二丁目 高橋一虎

西巢鴨一丁目 上山はる

西巢鴨二丁目 川崎 孝

巢鴨三丁目 湯田兵四郎

巢鴨四丁目 嶋津貞子

巢鴨五丁目 野村秀夫

駒込一丁目 熊谷春井

(10月30日現在)

「寄稿」

郷土資料館友の会に

ご加入のおさそい

歴史生活資料調査の調査員の呼びかけで、郷土資料館友の会が、十月五日より発足いたしました。歴史的資料の映画鑑賞、講演会への参加、史跡散策小旅行、学習研究活動、資料館への協力が当面の活動方針です。入会は老若男女を問いません。会費は月額三〇〇円です。入会申込又は問合せは、豊島区長崎四一〇一〇一の豊島区立郷土資料館友の会 幹事長高田まで

企画展のお知らせ

企画展『戦中・戦後の区民生活』

戦後四〇年にあたり、戦争がいかに区民生活に深刻な影響を与えたかを知ってもらい、平和の大切さを考えようとするものです。

期間 十一月五日～十二月十四日

午前九時～午後四時三〇分

公開歴史講座

十一月十六日(土) 戦争で変わる区民の暮らし
十一月三〇日(土) 戦争の中の子供たち
十二月七日(土) 疎開そして空襲
十二月十四日(土) 戦争と女性
各、午後二時・郷土資料館研修室

声

二〇年ぶりに子供頃住んだ場所を訪れ、所々に昔のおもかげをみつけ子供の頃がよみ返りなつかしかった。めまぐるしい発展をとげている池袋の昔はこうだったというのが展示されていてなつかしい。

(四三歳 女性 藤沢市在住)

仙台市から転居して一ヶ月足らずです。繁華街としての池袋ぐらいしかなじみのなかった豊島区ですがすばらしい資料館と出会ってすっかり身近になりました。たびたび来て深く知りたいと感じました。

(三七歳 男性 西池袋二丁目)

調査員の皆さんご苦労さま。館内あふれんばかりの資料に館員一同「うれしい悲鳴」早く収蔵庫の建築がのぞまれるとところです。

(K)

かたりべ

No. 2

1985年11月15日

発行

豊島区立郷土資料館

豊島区西池袋2-37-4

電話03-980-2351

